

第23回ホームカミングデーをオンライン開催 2020年3月・9月卒業生・修了生の卒業式を挙行

NEWS 01

2020年10月25日、「第23回東洋大学ホームカミングデー」を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染拡大を鑑みて、さまざまな企画の配信動画をご覧いただくオンライン形式にて実施しました。



今回のホームカミングデーのメイン企画は、コロナ禍のために卒業式が中止となった今年3月・9月の卒業生・修了生を対象としたオンライン卒業式の挙行。お笑いコンビ「フォーリンラブ」のパービーこと笹森花菜さん(2006年文学部インド哲学専攻卒業)に総司会をしていただき、大学生活を切り取った映像に校歌をのせて学生時代を振り返り、竹村牧男前学長と矢口悦子学長による式辞や証書授与、卒業生代表の謝辞、学校法人理事長や著名卒業生からのメッセージなどで彩られた卒業式となりました。

対談企画

新社会人卒業生対談



「新社会人卒業生対談」では、元NHKアナウンサーで本学非常勤講師の山下信氏(1975年社会学部応用社会学専攻卒業)による進行で、今年新社会人となった3人の卒業生にコロナ禍で入社を迎えた率直な気持ちや実際の働き方などを語り合っていました。

卒業生アスリート対談 / 指導者対談



特別企画「がんばれ卒業生! Fight! 卒業生アスリート」では、陸上競技の桐生祥秀選手(2018年法学部企業法学科卒業)と競泳の大橋悠依選手(2018年国際地域学部国際観光学専攻卒業)による卒業生アスリート対談をTBSアナウンサー小笠原亘氏(1996年社会学部応用社会学専攻卒業)を進行役に迎えて実施。コロナ禍でのトレーニングやメンタルケア、そして現在の心境などを語っていただきました。さらに、桐生選手・大橋選手の恩師である土江寛裕教授と平井伯昌教授による指導者対談も行い、延期となった東京オリンピックの開催に向けて、期待の高まる企画となりました。

その他の企画として、Web会議システムを利用して卒業生が教員と再会できるゼミごとの交流会や、事前登録した参加者データを参考に世代を超えて学部や現在の業種など共通点のある卒業生同士がオンラインで会話をする交流会も開かれました。初のオンライン開催となったホームカミングデーは、大盛況の1日となりました。

コロナ禍における影響を把握する 在学生アンケート調査を実施

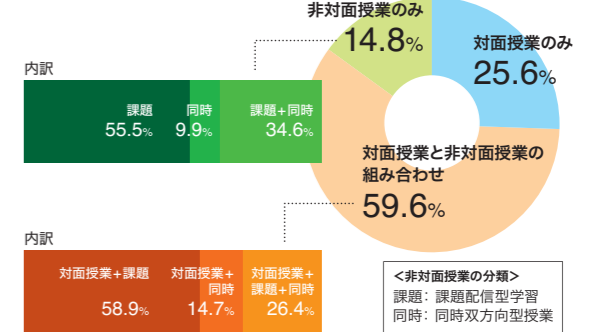
NEWS 02

- 実施期間: 2020年9月18日~10月16日
- 対象: 学部1~4年生
- 回答率: 39.0%(11,856人)

今年度は新型コロナウイルスの影響で授業を非対面形式で実施するなど、多くの学生が従来と異なる大学生活を過ごしています。そうした学修・生活への影響を具体的に把握するため、本学では学部生を対象にしたアンケート調査を実施しました。春学期の授業は、ほぼ全ての学生が非対面(メディア)形式の授業を受講。そのメリットとして『自分のペースで学修できる』『通学時間の短縮』と効率面が挙がる一方、『課題の多さ』『身体的疲労』『友人とともに学びあえない』など学修環境の不便さを感じる声もありました。コロナ収束後も半数以上の学生が対面・非対面の組み合わせの授業形態を希望。授業の性質にあわせた柔軟な学修環境の整備が求められています。

生活においては、約8割の学生が外出を控え、中には『節約のため実家に戻って過ごした』『アルバイトの減少により節約していた』と経済的な対応を迫られた学生が一定数いたことも判明しました。現時点で先行きが見えない中、大学生活や進路に対し不安を感じている学生は8割を超えています。引き続き調査結果を分析し、実態のさらなる把握・学修環境の改善に努めていきます。

Q1 今後、新型コロナウイルスの事態が収束した後、授業はどのような形態で実施してほしいと思いますか。(最もあてはまるもの1つ)



Q2 大学生生活や進路に対して、どんなことを不安に感じていますか。(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した学生の割合)

希望通り就職できるか	68.3%
取りたい資格が取得できるか	57.1%
授業についていけるか	55.2%
学費や奨学金の問題	52.1%
卒業できるか	52.1%
教員とのコミュニケーションができるか	51.5%
仲の良い友人をつくれるか	51.1%

フードバンクによる助け合いの場を創出 「Hands to Hands —みんなで乗り越える、コロナ禍—」を実施

NEWS 03

新型コロナウイルスの影響で仕送りやアルバイトの機会が減少するなど、学生にとって経済的に不安な生活が続く中、本学のボランティア支援室が中心となり「Hands to Hands —みんなで乗り越える、コロナ禍—」と題したフードバンクを実施しました(後援・協力: 東洋大学学生会、東洋大学校友会、東洋大学生協)。2020年9月より卒業生や教職員、在学生やご父母60人以上から食料品の寄贈があり、特にお米は合計340kgになるなど大変多くの支援をいただきました。集まった食料品は、学生ボランティアが整理して1人分に仕分け。10月から全キャンパスで開始した受け取りは密な状況の回避とプライバシーに配慮するため事前予約制とし、検温・消毒を行うなど感染予防を徹底しました。「寄贈者・受け取った学生それぞれからメッセージを寄せてもらい、関わった人々の想いが伝わる助け合いの場となりました。多くの方々にご支援いただき感謝しています。」と担当者は語り、11月には2回目のフードバンクを開催しました。



2020年 プロ野球ドラフト会議にて 在学生1名・卒業生1名が指名

NEWS 04

2020年10月26日、プロ野球の新人選手選択会議（ドラフト会議）が行われ、硬式野球部の村上頌樹投手（総合情報学部総合情報学科4年）が阪神タイガースから5位、また本学卒業生でENEOS野球部所属の藤井聖投手（2019年法学部法律学科卒業）が東北楽天ゴールデンイーグルスから3位で指名を受けました。

村上投手は兵庫県出身で、奈良県の強豪・智辯学園高等学校3年生時には春の選抜大会で全国優勝の立役者に。本学入学後も1年生から東都大学野球春季リーグ戦に出場、昨春は6勝無敗、防御率0.77と抜群の成績を残し優勝の原動力となりました。村上投手は「思い出のある甲子園をホームグラウンドにできるのは光栄です。自分の姿を高校生が目指してくれたらうれしいです」と語り、活躍を誓いました。

藤井投手は2019年3月に本学卒業後、ENEOS株式会社に入社。都市対抗野球大会などで活躍し、今年のドラフト会議では社会人No.1左腕と評されていました。「今回のドラフト会議で良い評価をしていただけたのは、東洋大学での経験があったからこそ。これまでサポートや応援をいただいた方々への感謝を忘れず精進します」と決意を語りました。両投手の今後の活躍にご期待ください。



村上頌樹投手



藤井聖投手

陸上競技部 長距離部門が各大会に出場 5000m競歩で日本新／全日本大学女子駅伝／全日本大学駅伝

NEWS 05

●競歩 池田向希選手



(写真／報知新聞)

2020年10月25日、陸上競技部 男子長距離部門 競歩の池田向希選手（経済学部経済学科4年）が、第9回順天堂大学競歩会の5000m競歩で、18分20秒14の日本新記録を樹立しました。池田選手は、3月に行われた全日本競歩能美大会で初優勝し、東京五輪男子20km競歩の日本代表に内定。来年度から社会人陸上部の強豪・旭化成への入社が内定しており、東京五輪での活躍も期待されます。

●全日本大学女子駅伝対校選手権大会



(写真／月刊陸上競技)

2020年10月25日、女子長距離部門が第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会に出場しました。創部9年目で8年連続8回目の出場となり、一時はシード圏内の6位につけるも最終的には16位でゴール。目標としていた2016年以来4年ぶりのシード権獲得とはなりませんでしたが、多数の1・3年生が活躍し来年に向けて期待のもてる大会となりました。

●全日本大学駅伝対校選手権大会



(写真／月刊陸上競技)

2020年11月1日、男子長距離部門が秩父宮賜杯 第52回全日本大学駅伝対校選手権大会へ出場しました。前半区間は1・2年生の若い力を主体に、後半区間に3・4年生の主力を並べた陣容で出走。終盤まで上位チームとの差が開かない混戦となる中、「1秒をけずりだす」懸命な走りを見せ総合6位となりました。次年度の出場権となるシード権を13年連続で獲得。2021年1月に開催される箱根駅伝に向けてさらなる挑戦を続けていきます。

円了の志を受け継ぐ哲学堂祭を挙行

NEWS 06

2020年11月7日、東京都中野区の蓮華寺と哲学堂公園において2020年度哲学堂祭を挙行了しました。今年は新型コロナウイルスの影響で、例年より規模を縮小。約30名が参加しました。

井上円了の法会である墓前祭の後、哲学堂公園の「四聖堂」へ移り、円了の曾孫にあたる井上進氏による遺文の朗読と、矢口悦子学長による円了の遺した唱念「南無絶対無限尊」の三唱を行いました。その後の記念講演では「釈迦とマンガラー 仏教における世界と自己」をテーマに、文学部東洋思想文化学科 山口しのぶ教授がインド宗教の歴史・世界観、マンガラの意味や現代における視点などについて講演しました。円了が精神修養の場として創設した自然豊かな哲学堂公園にて、円了や哲学に想いを馳せる時間を過ごしました。



哲学堂祭とは毎年11月の第一土曜日に、哲学の普及を願った本学の創立者井上円了の遺言に基づき執り行われます。記念講演では、哲学堂公園の四聖堂に祀られる哲学の四聖（釈迦、孔子、ソクラテス、カント）から1人をテーマに毎年講演を行います。

《 INFORMATION 》

2021年1月～3月に約350社が参加する 全学部対象のオンライン合同企業セミナーを開催

本学主催によるオンライン合同企業セミナーを、2021年1月から3月にかけて計5回開催します。新型コロナウイルスの影響を受け今年度はオンライン開催となりました。2022年3月卒業予定の全学生を対象に、「本学の卒業生が活躍している」「業界で大きなシェアを占めている」「東洋大学生の採用に積極的である」といった特長をもつ企業・団体が5日間で約350社参加。人気企業のセミナーに希望者全員が参加できるのもオンライン開催の特長です。採用担当者から業界の現状や企業概要、仕事内容などを直接伺い、チャットを通して質問ができる貴重な機会となります。さらに当日聞くことができなかった企業のセミナーも、後日配信される録画データにより視聴可能です。

この合同企業セミナーに先立って、2020年11月に行われた「オンライン業界理解セミナー」にも多数の学生が参加し、自身のキャリア選択について視野を広げています。学生の未来を拓くため、日々状況が変化する就職活動のサポートを今後も続けていきます。



●視聴方法や参加企業など詳細はToyoNet-Gでご確認ください。

2020年度 学位記授与式・卒業式について

2021年3月の卒業生・修了生を対象とした、東洋大学学位記授与式・卒業式を2021年3月23日に日本武道館にて挙行予定です。政府および東京都が示す新型コロナウイルス感染症対策の収容人数制限に従い、卒業生・修了生のみでの入場とし、午前・午後の2部制で学部・研究科ごとに執り行います。当日ご来場できない卒業生・修了生やご父母（保証人）等に向けて、ライブ配信も予定しています。詳細が決定次第、本学Webサイトにてご案内します。